

# 中国景気概況(2022年10月)

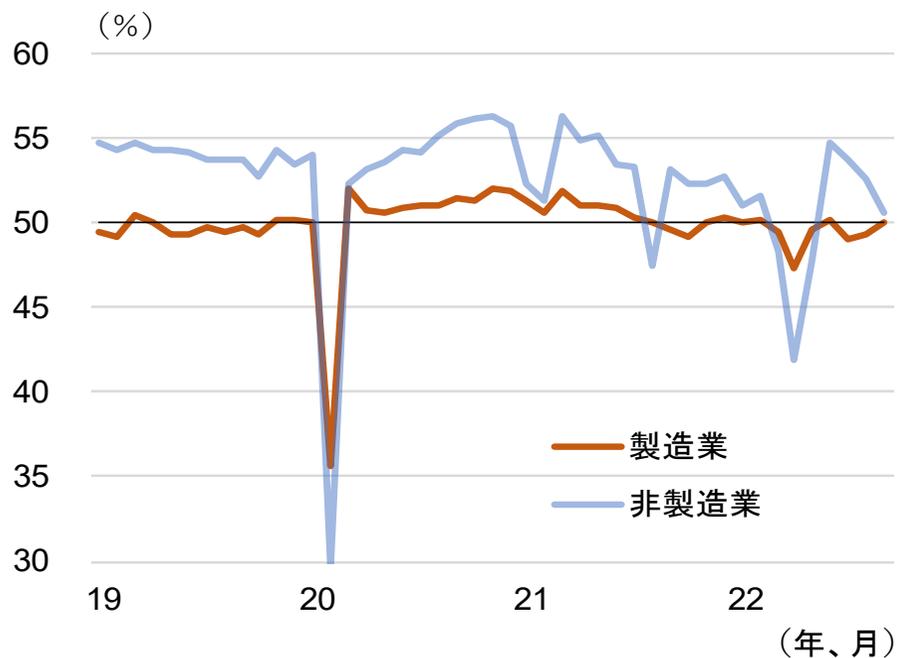
2022年10月4日

調査部 研究員 丸山 健太

# 景気は持ち直しに弱さ

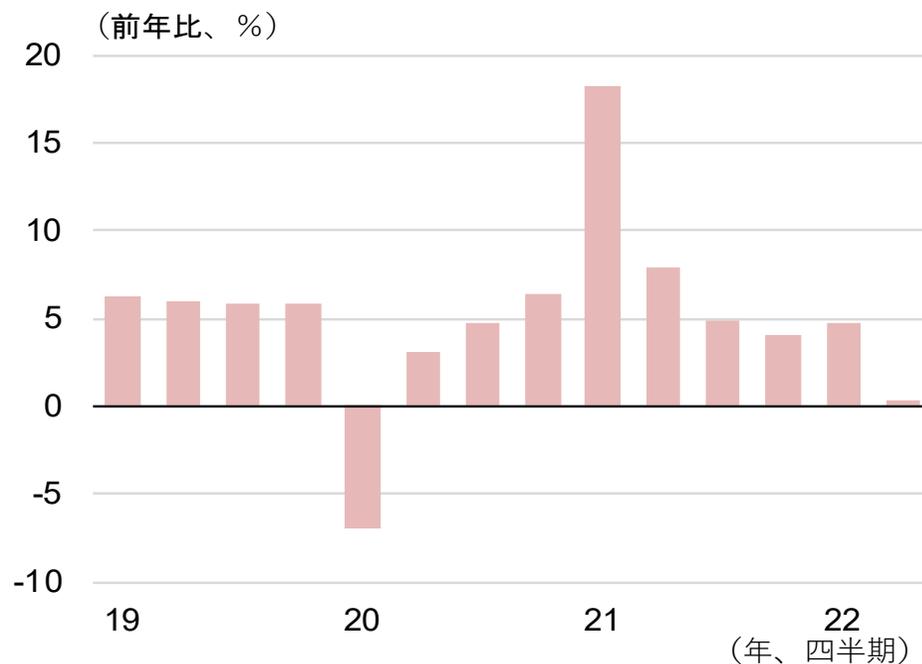
中国景気は持ち直しに弱さがみられる。製造業は上海ロックダウンや電力不足による供給制約が剥落し、持ち直した一方、非製造業は各地でロックダウンが実施されたことで、接触型サービス中心に打撃が大きかった。これらの要因により、9月のPMIは、製造業では上昇したが、非製造業では大きく低下した。なお、2022年第2四半期の実質GDP成長率は前年比+0.4%と伸びが大幅に縮小した。季節調整済み前期比は-2.6%と、2020年第1四半期以来のマイナスとなった。

### PMI



(出所) 国家統計局

### 実質GDP(四半期)



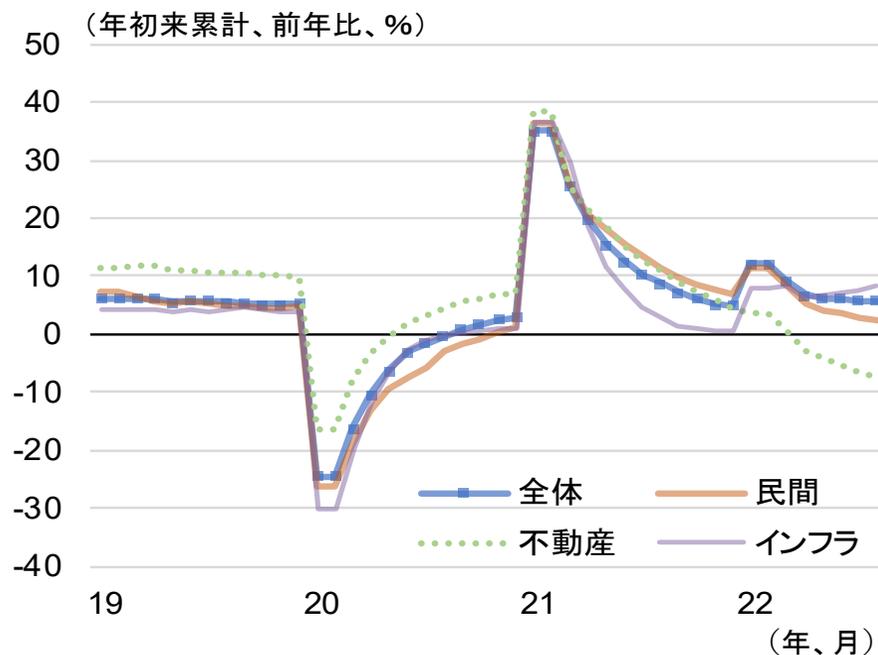
(出所) 国家統計局

# 固定資産投資、生産とも増加幅拡大

8月の固定資産投資(年初来累計値)は前年比+5.8%と、今年に入って始めて増加幅が拡大した。不動産投資は規制強化を背景に前年割れが続いた一方、政府の景気下支え策によりインフラ投資が全体を押し上げた。

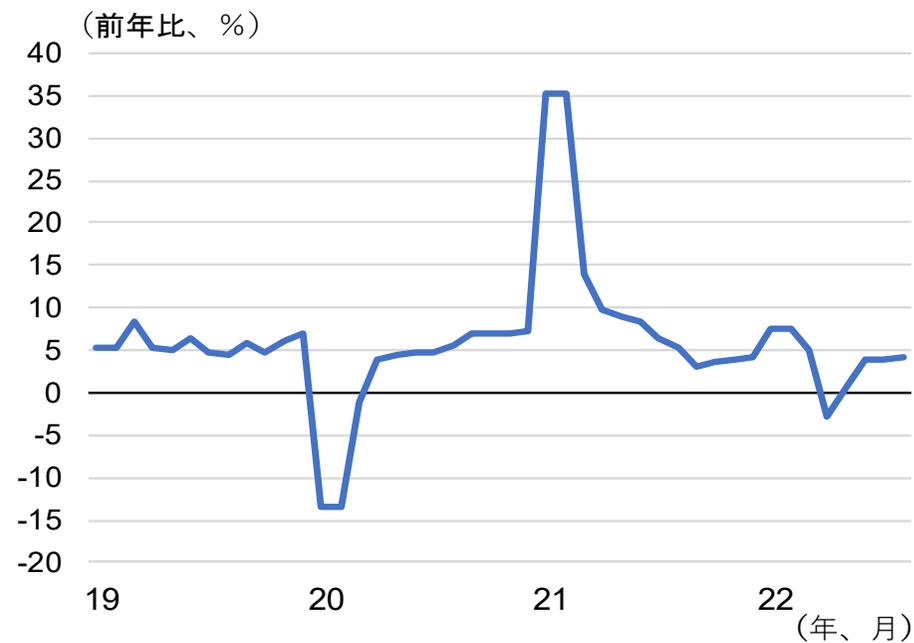
8月の工業生産は、前年比+4.2%と増加幅が拡大した。自動車を中心に上海ロックダウンによる落ち込みからの回復が続いた。もっとも、四川省などでの電力不足や各地での新型コロナ感染再拡大を背景に、増加幅拡大は小幅にとどまった。

## 固定資産投資



(出所) 国家統計局

## 工業生産



(出所) 国家統計局

## 消費は持ち直し、物価は上昇幅縮小

8月の小売売上高(名目)は前年比+5.4%と持ち直した。上海ロックダウンからの回復が続く自動車販売の増加が大きかったほか、飲食サービスが今年初めて前年比プラスとなった。消費券(消費喚起を目的としたクーポン)発行など政府による消費促進策も功を奏した。ただし、季節調整済み前期比は2ヶ月連続で減少しており、消費の回復の動きは鈍い。

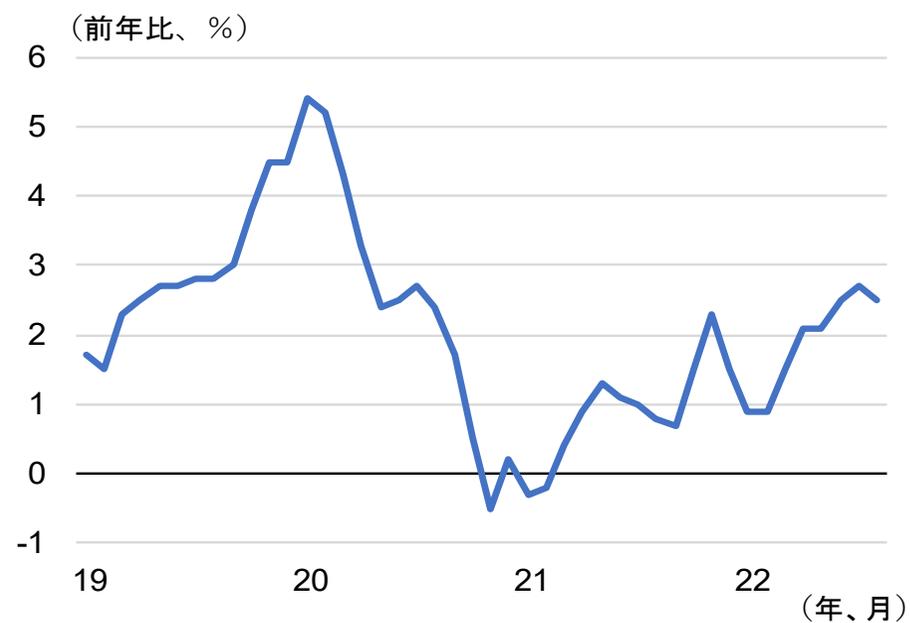
8月の消費者物価上昇率は前年比+2.5%と上昇幅が縮小した。需要の弱い「旅行」などサービス価格の上昇が鈍い。

### 小売売上高(名目)



(出所) 国家統計局

### 消費者物価指数

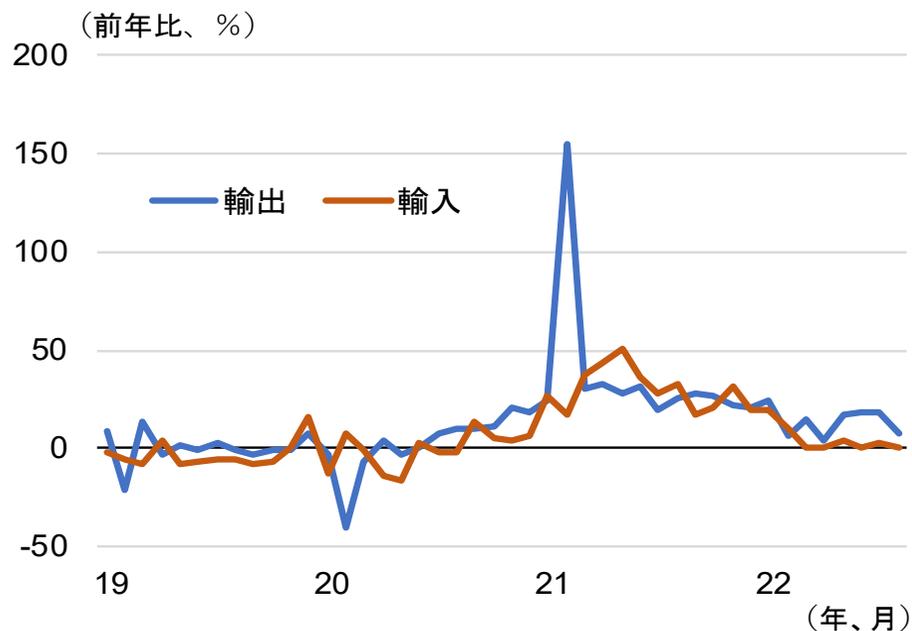


(出所) 国家統計局

## 輸出、輸入とも増加幅縮小

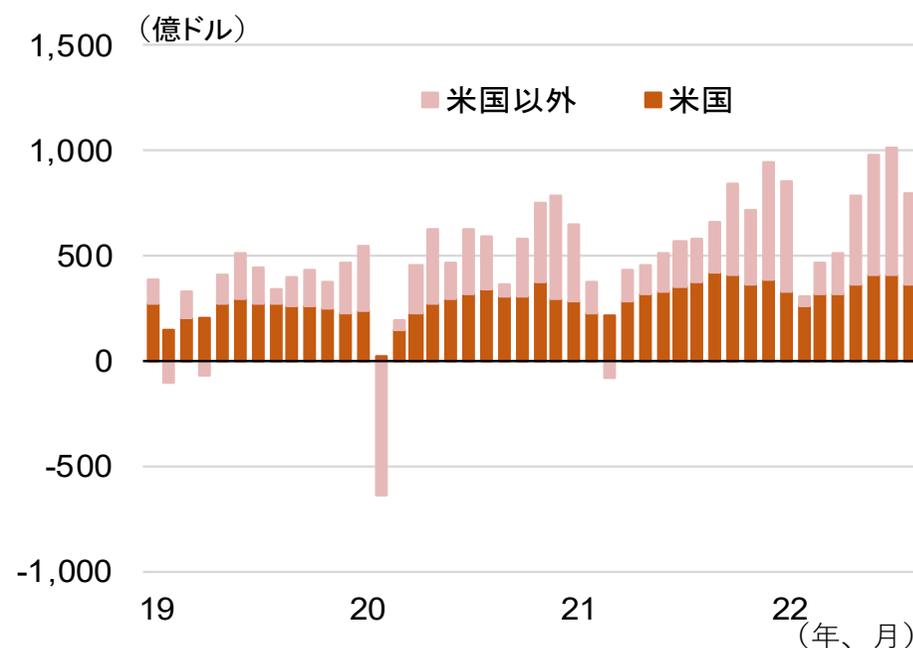
8月の輸出は前年比+7.1%、輸入は同+0.3%といずれも増加幅が縮小した。貿易黒字は794億ドルと、前年同月(583億ドル)から拡大した。輸出は、自動車や電工器材、鋼材の大幅な増加が続いた一方、電子部品が前年比マイナスに転じた。また輸入は、価格高騰で石油などエネルギーが押し上げているものの、増加幅が縮小した。また、内需の弱さを反映し、集積回路など電子部品が大きく減少した。貿易収支は、対ASEANの黒字幅拡大が大きかった。

### 財輸出入



(出所) 海関総署

### 貿易収支



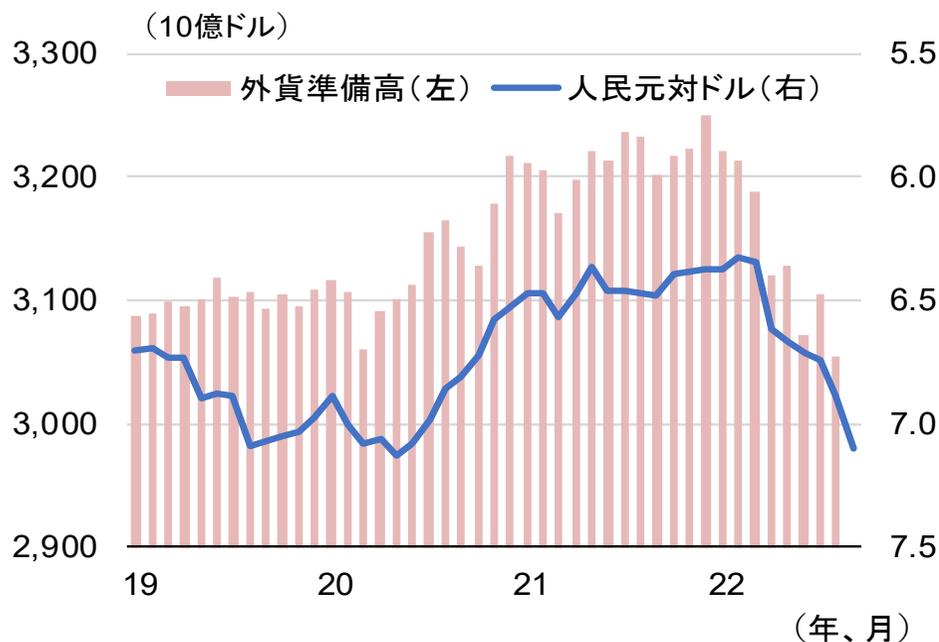
(出所) 海関総署

# 為替は元安、株価は下落

人民元の対ドルレート(9月末値)は1ドル=7.10元と元安が進んだ。金融緩和姿勢にある中国と、利上げが続く米国との間での金利差拡大が背景にある。8月末時点での外貨準備高は、3兆549億ドルと減少した。

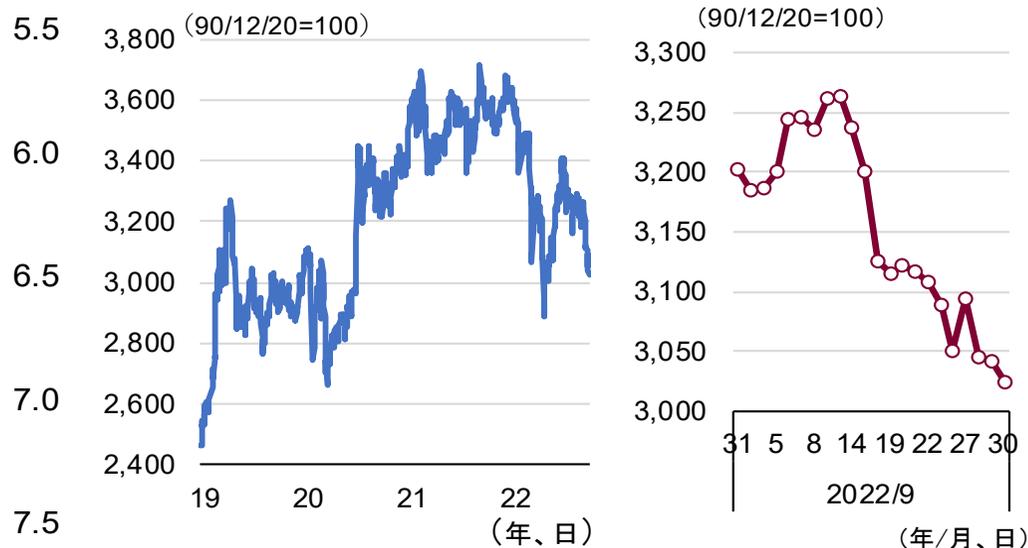
9月の上海総合株価指数は下落した。月前半は横ばい圏で推移したが、中旬以降、人民元安による中国本土からの資金流出への警戒感や、多くの主要都市での防疫措置の強化がもたらす景気減速懸念から、株価は下落した。

### 外貨準備高



(出所) 中国人民銀行

### 上海総合株価指数



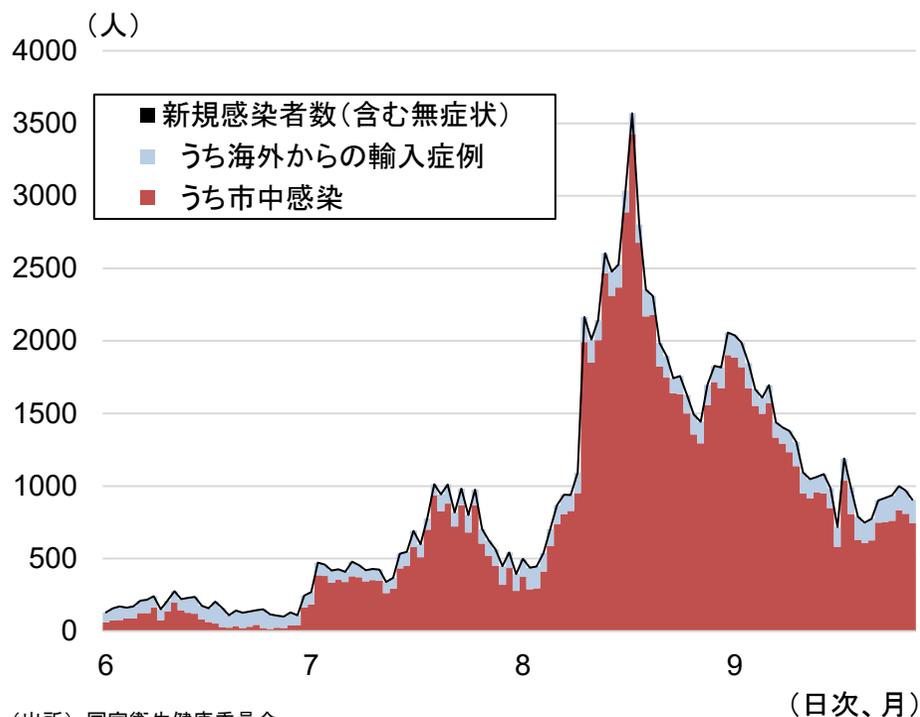
(出所) 上海証券交易所

# 新型コロナ感染拡大が、連休の旅行需要にも影響

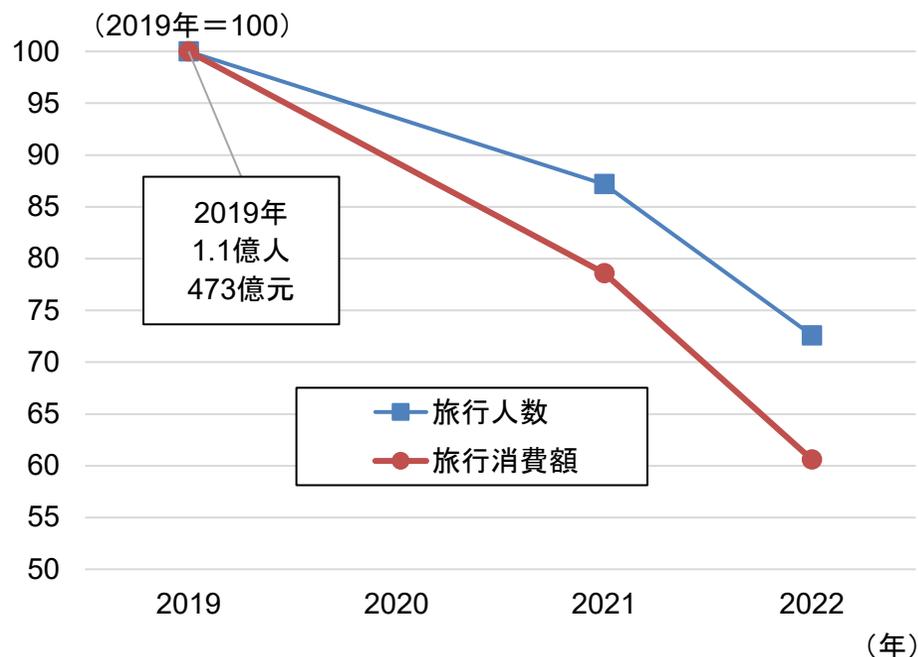
新型コロナ新規感染者数はピークを越えたものの、9月に入っても1日1000人前後で推移しており、成都や大連など大都市でロックダウンが実施された(左図)。

各地でロックダウン措置が採られる中、旅行需要の低迷が続く。9月の中秋節三連休では、旅行者数、消費額とも前年から減少し、コロナ前の6~7割の水準にとどまった(右図)。10月の国慶節でも旅行需要の回復は見込めず、個人消費の持ち直しの動きに水を差す懸念がある。

### 新型コロナ新規感染者数の推移



### 中秋節三連休の旅行人数と消費額の推移

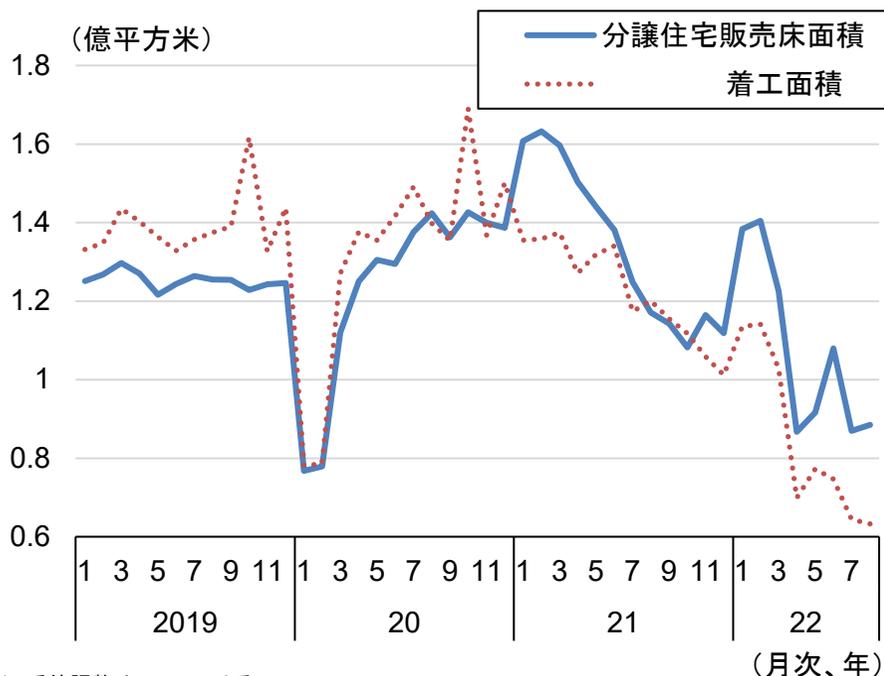


# 不動産の低迷が、社会不安に発展の恐れも

不動産業界の苦境が続く。2020年以降、不動産バブルに未然に対処するため、不動産企業向け融資総量規制など、業界への規制が強化された。その結果、住宅販売は21年から減少が続き(左図)、住宅価格も低下傾向にある(右図)。

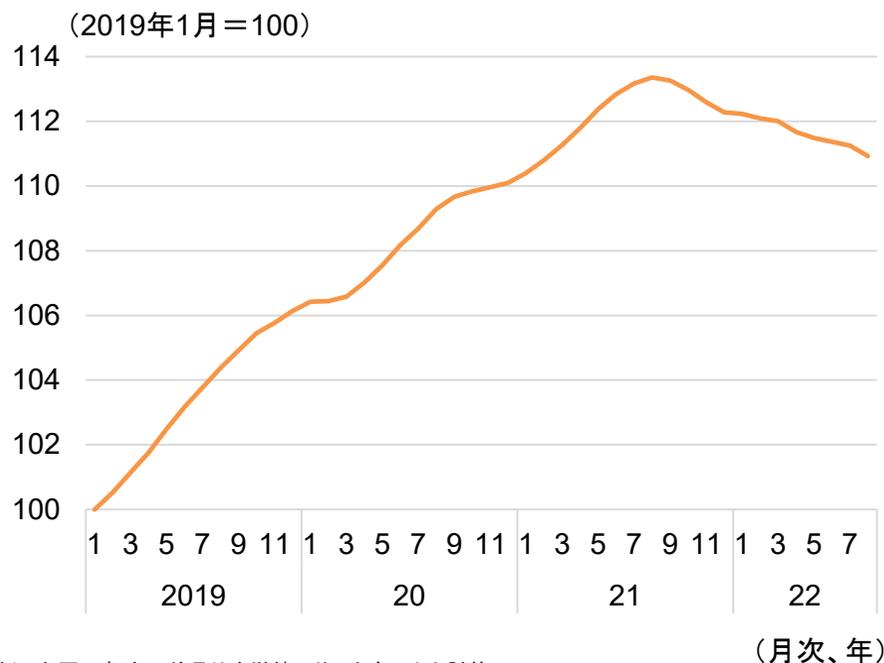
不動産の低迷は、投資の減少(2頁参照)などを通じ、すでに中国経済を下押ししている。また、このところ、引き渡されない未完成物件(「爛尾楼」)の住宅ローンの返済を拒否する動きが広がるなど、社会不安に発展する懸念も出てきた。

### 住宅販売と着工の動向(季節調整値)



(注) 季節調整はMURCIによる  
(出所) 国家統計局

### 新築分譲住宅価格の推移



(注) 主要70都市の前月比を単純平均したものから試算  
(出所) 国家統計局

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 丸山 TEL:03-6733-1630 E-mail:[chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください